

令和2年度 第1回学校評価アンケート(教職員向け)

「県児童生徒質問紙調査」関連項目…教職員個々の取り組み

ア:あてはまる イ:どちらかといえばあてはまる ウ:どちらかといえばあてはまらない エ:あてはまらない

番号	項目	ア	イ	ウ	エ
1	児童は、自分にはよいところがあると言っている。				
2	児童一人一人のよい点や可能性を見つける取組をしている。				
3	学校に行くのが楽しいと言えるような取組をしている。				
4	ものごとを最後までやり遂げ、達成感を味わえるような取組をしている。				
5	きまりを守ることの大切さを理解し、行動できるように指導をしている。				
6	困っている人を進んで助けることができるような指導をしている。(校内研究関連)				
7	いじめは、どんな理由があってもいけないという指導をしている。				
8	家で自分で計画を立てて勉強ができるような指導をしている。				
9	授業では、課題の解決に向けて、自ら考え、自ら進んで取り組めるような指導をしている。				
10	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるような指導をしている。				
11	勉強で努力することは大切だと思えるような指導をしている。				
12	間違いや理解していないところについて、分かるまで教えるようにしている。				
13	学級みんなで話し合っ決めてことなどに協力して取り組み、うれしさを実感させるような指導をしている。				
14	学級・学校生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合いを行い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決められるような指導をしている。				
15	授業の中で、自分の考えをもち、ペアやグループ、学級全体の場で友達に伝えることができるような指導をしている。(校内研究関連)				

「県学校質問紙調査」関連項目…学校全体としての取り組み

ア:あてはまる イ:どちらかといえばあてはまる ウ:どちらかといえばあてはまらない エ:あてはまらない

番号	項目	ア	イ	ウ	エ
16	自校の「学校グランドデザイン」に基づき、学びの質を高める授業改善・学校改善について、校内研究等で全職員で共有し、理解を深めている。				
17	自校で育成したい「児童生徒の資質・能力」「目指す子どもの姿」が明確にされ、校内研究等で全職員で共有し、ほとんどの教師が意識して授業改善を実践している。				
18	学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(認めるなど)取り組みが充実している。				
19	習得・活用及び探究の学習過程を意識し、児童生徒一人一人の自立を見通した学習指導の改善及び工夫をしている。				
20	学年会・教科会について計画的に実施し、着実に授業改善が進んでいる。				
21	各種調査(全国・本県・自校等)のデータ分析に基づき、校内研究の実施計画を立案し、整備するなど、組織的、継続的な研究を行い、授業改善や個別支援につなげている。				
22	学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開示のチャイムを守るなど)の維持を徹底している。				
23	学級活動及び児童会・生徒会活動について、児童生徒の自主性が育まれる取組が行われ、全職員でその意義が共有されている。				

24	学校評価を含む、児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。				
25	管理職等による授業観察が日常的に行われ、職員への効果的なフィードバックが行われている。				
26	キャリア教育やキャリアパスポートについて、その意義等について校内研究等で共有し、児童生徒の自主性が育まれる取組を行い、児童生徒の個別支援等につなげている。				
27	家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を提示するなど工夫することで、家庭学習が充実している。				
28	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている。				

※太字番号は保護者項目にはない項目（教職員のみ）